

令和2年第3回雲仙市議会定例会

市長報告 (開会)

令和2年8月27日

雲仙市長 金澤 秀三郎

はじめに、全国各地で甚大な災害となりました「令和2年7月豪雨」により被災された皆様に対しまして、心からお見舞い申し上げます。

本市の被害状況につきましては、7月6日から7月13日にかけて、総雨量743ミリの非常に激しい雨により、広い範囲で被害をもたらしております。

公共土木施設災害につきましては、市道47箇所が被害が発生しており、復旧に要する概算事業費は、3,060万円と試算しております。

また、農業用施設等災害につきましては、農地被害が21箇所、農道や水路施設の被害が14箇所が発生しており、復旧に要する概算事業費は、6,370万円と試算しております。

今後、早期の復旧と防災・減災に向けた市民の皆様の安全、安心の確保に向け、努めてまいります。

全国各地の災害で被災された方々の生活再建を支援するため、市役所本庁及び福祉事務所、各総合支所に、義援金の募金箱を設置いたしました。

また、7月24日から8月29日までの間、被災地災害支

援のため、本市職員4名を交替で熊本県球磨村へ派遣し、現地では、避難所の運営や罹災証明書発行のための災害調査などに従事しております。

被災地の復興には長期を要すると存じますが、今後におきましても、長崎県や関係機関と連携し、全国被災地の早期復興に向け、支援してまいりたいと考えておりますので、議員皆様方のご理解、ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

続きまして、市民の皆様のご活躍につきまして、報告させていただきます。

【産業における活躍について】

7月25日に開催された「第26回『長崎和牛』系統枝肉共励会」におきまして、千々石町の平野幸一様が最高賞であるグランドチャンピオン賞を受賞され、同町の小川博信様が銅賞を受賞されました。

【青少年健全育成における活躍について】

8月19日に開催された「第42回少年の主張長崎県大会」におきまして、市代表として出場されました瑞穂中学校3年の本多満世留さんが、最優秀賞を受賞されました。

本多さんは、全国大会出場者を選考する九州ブロック審査に、県代表として推薦されます。

受賞をされました皆様に対し、心からお祝い申し上げますとともに、なお一層のご活躍を期待しております。

続きまして、主な市政の取り組み等につきまして、第2次雲仙市総合計画の基本方針に基づき、報告させていただきます。

【基本方針1「暮らしと安心」の分野について】

県外からの移住を更に促進するための「移住者向け住宅確保加速化支援事業」につきましては、空き家の掘り起こしやリフォーム、移住者への転貸などを行う空き家活用団体として、「小浜まちづくり株式会社」から社名変更された「雲仙市まちづくり株式会社」を認定いたしました。今後も、空き

家の活用と移住施策を推進してまいります。

8月4日、雲仙市内で初となる新型コロナウイルス感染症の感染者が4名確認されたと県から公表がなされ、現在までに市内で7名の感染者が確認されております。

市といたしましては、感染拡大を防止するために新しい生活様式の徹底や新型コロナウイルス接触確認アプリ^コCO^アAの活用につきまして、周知啓発を図るとともに、県から提供される情報に基づいた、正確な情報発信を行い、個人への偏見や誹謗中傷、飲食店等への風評被害を防ぐための呼びかけを行ってまいります。

8月7日、雲仙市を管轄する公共的な関係機関の代表者にご参集いただき、「雲仙市機関長会議」を開催し、各種情報交換を行いました。

当日は、新型コロナウイルス感染症にかかる市民の皆様への対応報告や各経済対策などの情報提供と「新しい生活様式」の徹底など感染拡大防止の取り組みのお願いをさせていただきました。

新型コロナウイルス感染症緊急経済対策のひとつである特別定額給付金につきましては、8月14日に申請受付期限

を迎えました。

最終的な給付状況につきましては、給付対象世帯数は1万7,372世帯でございました。このうち、郵送申請によるものが1万7,174世帯、オンライン申請によるものが174世帯で、合計1万7,348世帯に対して給付を行い、対象世帯数の99.9%の給付率となりました。

地域防災体制強化につきましては、8月5日、太陽工業株式会社様と「災害時における天幕等資機材の供給に関する協定」を締結いたしました。

今回の協定締結に基づき、災害時にエアーテントやパーティションなどの供給を受けることにより、現地対策本部や救護所としての活用、また、避難所でのプライバシー確保や新型コロナウイルス感染症の拡大防止に活用できるものと期待しております。

【基本方針2「産業と交流」の分野について】

平成30年5月から閉館されておりました雲仙温泉の「雲仙富貴屋」におきまして、建て替えに伴う解体工事に着手されております。

同施設は、全国で宿泊施設を展開する「株式会社星野リゾート」様が運営を引き継いでおり、長崎県内での宿泊施設運営は初めてになるとお聞きしております。

市といたしましても、雲仙温泉街の更なる発展と本市の観光振興に寄与していただきますことを期待しております。

【基本方針3 「社会基盤と環境」の分野について】

愛野町から小浜町までの幹線道路整備につきましては、今般、国土交通省により「国道57号（愛野～小浜）道路検討会」が立ち上げられ、7月17日に国土交通省、長崎県及び島原半島3市の副市長出席のもと、第1回目の検討会が開催されました。

早期事業化に向け、今後、更に積極的な要望活動を実施してまいります。

【基本方針4 「人財と郷土」の分野について】

8月2日、「市民ラジオ体操会」を市内7会場で開催し、600人を超える市民の皆様に、ご参加いただきました。

当日は、雲仙市スポーツ推進委員の皆様による実技指導の

もと、三密対策に留意し、ラジオ体操の放送にあわせて、朝日を浴びながら体を動かす良い機会となりました。

今後も、ラジオ体操を通じた運動の日常化の推進を図ってまいります。

【基本方針5「協働と戦略」の分野について】

8月4日、南串山町のハマユリックスホール駐車場におきまして、「第11回南串山ふるさと夏まつり・南串山ヨカトコ花火大会」が開催されました。

近隣の方は自宅から観覧されるなど、新型コロナウイルス感染症対策を行いながら、コロナ禍で疲弊した市民の皆様の心を少しでも癒そうと早期収束を願って実施されました。

実行委員会の皆様をはじめ、関係各位のご尽力に対し、敬意を表します。

庁舎整備につきましては、7月27日、(仮称)新瑞穂総合支所の起工式が執り行われ、令和3年秋のオープンに向けて工事が開始されました。

今後も、市民サービスの更なる向上が図られるよう、計画的な庁舎整備に取り組んでまいります。

「長崎県への施策に関する要望・提案書」につきましては、8月3日、市議会から松尾議長をはじめ、議員の皆様とともに、愛野・小浜間の幹線道路整備、県管理河川の改良・維持管理及び多比良港埋立地の活用・整備など、9項目の施策要望を、中村県知事及び長崎県議会へ提出いたしました。

今後も、市民の皆様が安心して幸せに暮らせるまちづくりに努めてまいりたいと存じますので、引き続き、議員皆様のご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。